

大猷院教を拜し多てまつ里寛永正保

三年二月送跡を治事内田十月

初日死も法名乾哲一嗣あり

家絶家

三月門守勝式武致浦与知三男修

家藩一按もろ寛永藩一と二男系にかく一とり兵助一慶長

十七年一り

東照宮一拜謁寛永時七氣一家一

元和二年一

台徳院教に拜謁寛永四年正月

大猷院教一拜謁寛永同九年父死

て後其送順攝津國鴻一下川邊衣庫

八部備中國一窪一を一郡一の一門一に一と一り

二千百十石一を一分一ら一賜一家一同十年八月

より湯小姓組一の一番一士一と一あり寛永翌年

大猷院教一仰上一治一の一き一送一ひ一と一あり

同十二年八月廿城造営より駿河遠江  
と國より材木を檢け同廿年四月  
先より柳英作守直家より所のうちに  
収めしよりより下る根三十席信由  
共より信祿國川よといより仰をけし  
正保四年六月先より地震して所城の  
石垣被損するより修造の奉りよりけ  
るまより慶安元年遠江國掛川城を

北條出陣する氏重より賜ふより二月  
仰よりけしかの地よりいより嚴命を

けし  
即日記○今の一番の長谷川  
丹後と勝富の祖なり